

思春期サポートプレイス通信



まだまだ夏のような暑さが続いておりますが、皆様夏のお疲れは出ていらっしゃいませんか。思春期サポートプレイス通信を御覧いただき、ありがとうございます。この号では、**10月21日(土)**に開催する**第2回思春期サポートプレイス講演会**の御案内をさせていただきます。ぜひ御参加ください。

無気力・不安の背景 ～思春期について知る～

講演会講師、**齊藤 万比古 先生**から、参加する皆様へ、**メッセージ**

文部科学省の調査によると、不登校の要因は、小学校、中学校共に、「無気力・不安」が最も多くなっています。この調査の対象は学校であるので、学校からみると、不登校は、本人の「無気力・不安」が要因にみえるということなのでしょう。

しかし、**子供を、外からとらえることのできる表現、すなわち言語表現あるいは行動からだけで判断しないで**いただきたい。

なぜなら、思春期の子供は、教師に対して、なかなか本音を表出しないでしょう。

そして、**問題や症状が顕在化するその瞬間まで、それを他者から隠し通そう**とします。

不登校の子供の多くは、学校、親、学校に行けない現在の自分、そしてまだ見ぬ未来の自分という4つの要因間の関係性が交差する一点に立ちすくみ、苦しみもがいています。

また、大半の親は、そんなわが子をどう受け止めてよいか困惑し、同時に子供に託した自らの夢の挫折に傷付き苦しんでいます。**子供と親、両者の苦悩が共に支えられ変化することなしに、問題解決はありえません。**

不登校を示している子供について、どのように総合的に見立てを行い、治療者として伴走してきたか、児童精神医学的な知識と経験からお話します。

10月21日(土)

午後2時から
午後4時30分まで



お申し込みは、
03-3360-4192

までお電話ください。
(月～金：午前9時から午後5時まで)